

## 平成26年度 第10回石巻地区中学校総合体育大会（サッカー競技）実施要項抜粋

- 1 目 的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツの精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、石巻地区の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 5 期 日 1日目 平成26年5月31日（土） 予選リーグ （11試合）、開会式  
2日目 平成26年6月 1日（日） 決勝トーナメント（6試合）、閉会式  
予備日 平成26年6月 3日（火）  
平成26年6月 4日（水）
- 6 会 場 石巻市総合運動公園 フットボール場・ふれあいグラウンド
- 8 審 判 員 石巻サッカー協会審判部・各チーム審判員（有資格者）
- 9 競技規則 日本サッカー協会競技規則（最新版）及び中体連サッカー競技規則部内規定による。
- 10 大会規則
- (1) 競技方法
- ① 対戦方式
- ・ 1日目は出場 11 チームが3ブロック（a～c）に分かれて「予選リーグ」を行い、決勝トーナメントに進出する上位 8 チームを決定する。
  - ・ 4チームのブロック（aとb）は「リンク方式」でそれぞれ代表3チームを決定する。
  - ・ 3チームのブロック（c）は「総当たり戦」を行い、代表2チームを決定する。
  - ・ 2日目は予選リーグ上位8チームが2つのブロック（AとB）に分かれ、それぞれ「決勝トーナメント戦」を行う。各ブロックの優勝チームが県大会出場権を獲得する。3位決定戦は行わない。
  - ・ 春季大会の上位4チームがシード校（第1シードがaブロックに、第2シードがbブロックに、第3・4シードがcブロックに入る）となる。
- ② 試合時間
- ・ 全ての試合を50分間（25分ハーフ、インターバル5分）で行う。
  - ・ 予選リーグにおいて勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
  - ・ 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合は、10分間（5分ハーフ）の延長戦を行う。
  - ・ それでも決しない場合は、PK戦を行う。
  - ・ 決勝戦において勝敗が決しない場合は、10分間（5分ハーフ）の延長戦を行う。
  - ・ それでも決しない場合は、再度10分間（5分ハーフ）の延長戦を行う。
  - ・ それでも決しない場合は、PK方式で優勝を決定する。
  - ・ 決勝トーナメントにおいて延長等で試合時間が延びた場合、延長試合を行ったチームの試合

が終了してから30分後に次の予試合を実施することとする。

### ③ 予選ブロック代表の決め方

- ・ 「勝ち点（勝ち＝3，引き分け＝1，負け＝0）」によって決める。
- ・ 勝ち点が同じ場合は「直接対決の結果」で決める。
- ・ 直接対決が引き分けだった場合は「得失点差（総得点－総失点）」で決める。
- ・ それでも決しない場合は「総得点」で決める。
- ・ それでも決しない場合は「PK方式」で決める。
- ・ 3チームが同率になった場合は、「PK方式」による「ともえ戦」を1回行う。
- ・ それでも決しない場合は「抽選」（PKのスコアは無関係）とする。
- ・ 4チームが同率になった場合は、「PK方式」による「総当たり戦」を1回行う。
- ・ それでも決しない場合は「抽選」（PKのスコアは無関係）とする。

### ④ メンバー用紙

- ・ 各チームは競技開始20分前までに本部に「メンバー用紙」を提出すること。

### ⑤ 選手交替

- ・ メンバー用紙に登録された選手7名の自由な交替を認める。
- ・ 試合前にユニフォームのチェックを受けた交代要員は、交代する旨を本部に申し出ること。

### ⑥ 退場・警告

- ・ 本大会において「退場」を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。
- ・ 本大会において2度「警告」を受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ・ 決勝戦において「退場」を命じられた選手は、県大会の初戦に出場できない。
- ・ 退場については、専門部規律委員会でその後の対応を検討する。
- ・ 春季大会，地区中総体，地区新人大会の所属チームの最終試合において，その大会中「2度目の警告を受けた選手」と「退場を命じられた選手」は，次の大会の所属チームの初戦1試合に出場できない。

### ⑦ 競技中の給水

- ・ 水のみとする。ボトルの設置箇所は，副審の邪魔にならないタッチライン及びゴールライン沿い（ラインから1m程度離す）とする。

### ⑧ 飲水タイム

- ・ 大会本部が必要と認めた場合には「飲水タイム」を設ける。

### ⑨ 使用球・服装など

- ・ 日本サッカー協会検定5号ボールを使用する。（各チーム持ちよりで、空気圧は800hPa）
- ・ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング：以後ユニフォームという）は原則として，日本サッカー協会ユニフォーム規定に従うものとする。
- ・ ユニフォーム（シャツ）にはチーム名を入れる。
- ・ ユニフォームは，登録選手全員分のシャツ，ショーツ，ストッキングのそれぞれが，メーカーやマーク等の規格が統一されたものとする。

- ・ユニフォームの番号は選手登録書に記載された選手固有の番号（1～99番）とする。
  - ・ユニフォームは、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを必ず用意すること。
  - ・ゴールキーパーは、他のプレーヤーと色別すること。
  - ・金属類、眼鏡（安全なスポーツグラスは除く）、ギブス、装身具（ミサンガ、ネックレス、ヘアバンド（女子の髪留めは除く））等を身に付けての出場は認めない。
  - ・中学生らしくない髪型（染色、剃り、パーマ、異常なかりあげ等）の選手の出場は認めない。
  - ・縞模様のユニフォームの番号は台布の上につけること。
  - ・アンダーシャツとインナースパッツ（サーマルショーツ）は、それぞれシャツやショーツと同色のものとする。
  - ・東日本大震災の被災により、服装に関する上記の記載内容通りにできない場合は、組合せ抽選の前までに地区中体連サッカー専門部委員長まで申し出ること。
- ※ シャツの裾をパンツから出すことはルール違反ではなくなったが、教育的観点から、ユニフォームをきちんと着るように各チームで指導すること。
- ※ ソックスに巻くテーピングは、ソックスと同色のものとする。
- ※ 審判との区別を明確にするため、黒や紺のユニフォームは使用しないこと。
- ※ 各チームのユニフォーム（4着）は、類似色とならないように留意すること。

## （2）登録人員

- ・監督（学校長・教職員）1名、コーチ（外部コーチ・教職員）1名、役員（教職員）1名、選手18名の、計21名以内とする。ただし、東日本大震災の被災により、転入した3年生が在籍するチームについてはその限りではない。
- ・チームは原則として単独校でのチーム編成とするが、宮城県中学校体育連盟「複数校合同チーム参加規程」により、合同チームでのチーム編成を認める。
- ・登録人員の変更は、各チームの大会初戦の開始20分前までに行い、それ以降については認めない。第1試合の「メンバー提出用紙」に記載されたもので最終登録人員とする。

## （3）表彰

- ・優勝以下第2位までのチーム・選手に賞状を授与する。
- ・優勝チームには優勝杯（次年度まで保持）を授与する。

## （4）県大会出場枠 2チーム

- ・県大会の詳細については、後日、県中体連HPに掲載予定。

## （6）その他の申し合わせ事項

- ・春季大会の上位チームにはシード権を与える。（シード権は放棄できない。）

＜確認＞	第1シード：住吉中（1位）	第2シード：蛇田中（2位）
	第3シード：矢本一中（3位）	第4シード：青葉中（4位）

- ・春季大会の各チームの最終試合で退場を命じられた選手と、2度目の警告を受けた選手は、本大会の初戦に出場することができない。

＜確認＞ 春季大会からの累積選手 該当なし

- 大会初日は、ピッチ内アップを禁止する。ただし、キーパーについてはその限りではない。
- ※ ピッチ外でのアップの際には、スパイクを履かないこと。
- 2日目は、試合開始30分前から15分前までのピッチ内アップを認める。
- ベンチは、本部からフィールドに向かって左側を番号の若いチームのものとする。
- ベンチには「登録人員」以外は入ることができない。
- 選手宣誓は第1シードになったチームの選手（住吉中）が行う。
- 前年度優勝チーム（Aブロック矢本二、Bブロック矢本一）は開会式にて優勝杯を返還すること。
- 1日目は 7:30から、2日目は 8:00から大会本部にて顧問会を行う。
- 会場準備は第2試合に当たっているチームが行い（1日目 7:00、2日目 7:30）、後片付けは最終試合に当たっているチームが行う。
- 顧問はチームの勝敗にかかわらず、学校事情が許す限り2日間ともに大会の運営に当たる。
- 競技中のホイッスル及び拡声器での応援は認めない。
- 応援団の生徒の応援は、ベンチの反対側のサイドの芝生にかからない場所で行うこととする。
- 審判へのクレーム、ベンチ外からの戦術的な指示は行わない。各チームで連絡を徹底しておくこと。
- 選手以外はみだりに競技場に入らないこと。
- ゴミは必ず持ち帰ること。
- サッカー競技プログラムの販売は大会本部で行う。